

平成 31 年第 4 回役員会議事録

開催日：平成 31 年 7 月 19 日（土）9：45～11：45

場 所：国際交流会館 会議室

出席者：黒須重富、福田一郎、篠原正美、川上寛児、宮下 治、亀田則男、谷口雅昭、  
新井達雄、金澤政和、後藤 明、松原 猛、西谷元則（敬称省略）

委任状出席者：久芳良則、井本郁子、小川正順（敬称省略）

議事書記：西谷元則

議事録署名人：福田一郎・篠原 正美（敬称省略）

I. 審議事項

1. 支部特別職の委嘱(案)（黒須支部長）

7月2日に開催された日本技術士会第2回理事会において支部長の選任が了承され、黒須支部長が再任することになった。

2. 主要役職選任(案)（黒須支部長）

以下の県支部幹事が選任され承認された。

副支部長（敬称省略）：福田一郎、久芳良則、篠原正美

会計幹事（敬称省略）：井本郁子、小川正順

3. 県支部の特別顧問、顧問、参与の委嘱（黒須支部長）

以下の県支部貢献者に委嘱することが承認された。

支部最高顧問（敬称省略）：栃木県技術士会会長経験者 田仲喜一郎

支部特別顧問（敬称省略）：支部長経験者 菅井俊朗、小黒幸市

支部参（敬称省略）与：柳瀬宣義

4. 静岡大 OB 会(菅井俊郎氏)講演会の「後援団体による参加」について

（宮下委員長）

人工知能の技術を取り入れたロボットを開発した「ユニボット株式会社代表取締役の大槻正氏」の講演会について共催が承認された。

5. レクリエーション保険の加入について（西谷）

傷害保険と賠償保険について提案され、障害保険の入会が承認された。

今年度より入会することになり手続きに入ることになった。

6. 市貝プロジェクトの進捗状況（川上委員長）

・今年度の地方創生交付金による補助金を受けるために契約書及び仕様書を作成し、本部契約の準備を行なっている。今回は本部契約にすることが承認された。

7. 一般社団法人栃木県技術士会設立について（黒須支部長）

今後の業務の拡充を図るには一般社団法人の検討が必要と思われる。  
各役員がメリットとデメリットを整理することになり、継続審議となった。

8. 協賛団体の取り扱いの整理（黒須支部長）

補足規定が承認され、運用することで今回の協賛団体の栃木県庁職員技術士会の協賛団体として認めることが承認された。

9. その他

・埼玉県支部年次大会に黒須支部長が出席する。ここで講演として本部奈良専務理事が技術士法の改定について行うとのこと。内容によっては栃木県支部において頂き講演を依頼する場合もある。（黒須支部長）

・市貝プロジェクトでの自治体からの補助金に対する対価や経費案（川上委員長）  
今後の業務で人件費の単価などの提案があった。  
物件によって異なるので目安として検討する材料とする。

## II. 報告事項

1. 7月20日（土）第1回CPD研修会の参加状況について（宮下委員長）

CPD研修会の参加人数の31日の参加の報告があった。

2. さくらサイエンスプラン2019について（福田副支部長）

さくらサイエンスも採択され8月25～31日まで約30名で栃木県内を回る。日程の説明と概要について説明があった。

3. 支部業務斡旋規定 改訂報告（篠原副支部長）

以前承認された県支部業務斡旋規定の改定が7月1日付を改定日として運用すると報告があった。

4. 鹿沼市中小企業支援協議会参加報告（後藤副委員長）

7月2日第1回が開催され、概要の報告があった。

開催は年会2～3回あり、来年以降も継続されるとのこと、県内の市町でも依頼がある可能性があることなどが報告された。

5. 事務費増額について（新井委員長）

事務所家賃や支部運営事務費に対し本部から増額するとの通知があったため、役員は必要経費を整理して新井総務委員長に提出することになった。

6. 対外活動の提出（新井委員長）

本部は対外活動費の再提出を求めており、理科教育、講演会、見学会で該当があ

れば再提出すること。

西谷より、宮下企画研修員長、川上環境支援小委員長に様式を送信する。

7. CPD見学会について（宮下委員長）

産業用ロボットを製作している企業に会社見学に行く提案が会員の梁島氏よりあった。CPD見学会の開催について検討する。

8. その他（福田委員長）

宇都宮大学に浙江省の学生がインフラ整備について来日するとの報告があった。

Ⅲ. 次回開催予定日

次回役員会は、9月14日（土）10：00～12：00で実施。

議事録 署名人

支部長	黒須 重富
書 記	西谷 元則
議事録署名人	福田 一郎
議事録署名人	篠原 正美